

## 招聘審査員ご紹介

Robette Johns ロベット・ジョーンズさん 女性

Row-Bar Collies ローバール コリー犬舎のオーナー  
コリークラブオブアメリカ コリー・健康財団の理事長  
アメリカン ケネルクラブ カリフォルニア 執行代行役員

.....  
全ての始まりは 1973 年に ドッグショーに行ったことからでした。以来、ドッグショーを知り、楽しみ、繁殖も始めるようになったのです。

実際のきっかけは、この年のカリフォルニア・アナハイムでの CCA、サンディエゴ・コリークラブのショーに、家族や友人と共に当時飼っていた最初のブルーのコリーをエントリーしたことでした。初めて飼ったのがこのブルーの牡で、その後、別の犬を手に入れることができ、第一号のチャンピオンを完成させたのは 1975 年、初めての繁殖は 1977 年でした。とにかく生き物が好きで、犬の世話、ケネルの手伝い、子犬の育て方、訓練などあらゆることに興味を持ちました。

このアナハイムのショーでは、多くの素晴らしい犬を見ることができました。タータンサイド、カザン、ウィックメア、ハノーバ、ツーデイズ、など数えきれない偉大なケネルでした。

初めて自分の繁殖の犬を持つことになり犬舎号には、何か珍しい名前を付けたいと、Row-Bar コリーと名付けて繁殖をしました。

様々な経験の中で CH.Row-Bars Southern Dream, CH. Row-bars Southern Heritage HT, Monique など、素晴らしい成績と多くの素晴らしい子孫を残しました。モニークは数回の BIS, 196 回のベスト・オブ・バラエティ、13 回ものグループ 1 席、などの受賞経験をもっていますし、私の繁殖犬はラフだけでなくスムースの No1 にもなりました。自分の繁殖だけでなく、共同繁殖も含めると、すでにラフとスムースで 75 頭のチャンピオンを完成させました。

やがて、コリーの繁殖の中に、遺伝の病気や遺伝子のことなど、勉強すべきことがたくさんあることを知り、様々な研究を始めました。そして 1990 年、コリーの健康やブリーダー、オーナーを助けるための研究促進機関であるコリー健康財団からの要請を受け、副理事長、会計を経て、現在理事長を務めています。この大切な機関に協力し、コリーを守り、繁殖上の危険因子や、遺伝病を避けるべく様々な努力をし、警告を鳴らしています。

審査は 1997 年からで、アメリカはもちろん、カナダ、ドイツなどからも要請を受けています。

自分自身の仕事としましては 1977 年以来一貫して金融業界にあり、カリフォルニアのビバリーヒルズで 9 年間、公認投資アドバイザー事務所の代表を務め、昨年引退しまして、コリー一筋になることができました。今回、日本のコリークラブ 65 周年の審査に招聘いただき、大変名誉に感じています。



Robette Johns ロベット・ジョーンズさん